

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

今年4月19日に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。本校3年生の各教科の正答率については、概ね良好でしたが、いくつか課題もありました。それぞれの教科の結果分析と今後の対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

国語A	県平均 77.9%	全国平均 75.6%
<p>【特に正答率の高かった設問】</p> <p>☆「読む」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文脈の中における語句の意味を理解する」や「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」 <p>☆「言語についての知識・理解・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文脈に即して漢字を正しく読む」や「歌に表れた作者の思いを想像する」 	<p>4 3 2 1</p> <p>忘れそうな 忘れてしまった 忘れられない 忘れない</p> <p>線部「忘れがたき」の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。</p> <p>うさぎ追ひしかの山 小ふな釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたきふるさと</p> <p>ふるさと</p> <p>七次は、「ふるさと」の歌詞の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。</p>	<p>三 次の文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。一つ選びなさい。</p> <p>イ 厳しい挑戦だということは、(1)もしも</p> <p>2 どうか 3 めったに 4 もちろん</p> <p>分かっていません。</p>
<p>【課題】</p> <p>①言語事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文脈に即して漢字を正しく書く」や「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」 <p>②「話す・聞く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞き手をどのように想定して話しているのかを説明」や「相手の発言をどのように聞いているのかを説明」 	<p>【対策】</p> <p>①漢字（語句）コンテストの出題方法を改訂する。</p> <p>①ノート指導を徹底する。</p> <p>②「聞き取りテスト」の定例化とコンテストを実施する。</p> <p>②ビブリオバトルの回数を増やす。</p> <p>②学級活動の時間にディベートによる話し合い活動を増やす。</p>	

国語B	県平均 70.1%	全国平均 66.5%
<p>【特に正答率の高かった設問】</p> <p>☆「読む」 ・「目的に応じて必要な情報を読み取る」</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>地球と同じ速さで動き、どこからでも乗ることができる。</p> <p>外から供給される電力でモーターを動かして昇降する。</p> <p>0倍の強度を持つている。</p> <p>昇降機の壁はロケットの100倍の強度を持つている。</p> <p>運ぶことができる。</p> <p>大量の荷物やたくさんの人を運ぶことができる。</p> <p>地上と宇宙ステーションの間を約二十四時間で移動する。</p> <p>二 高橋さんは、【雑誌の記事】の内容を次のような情報カードにまとめています。□に当てはまる内容として適切なものを、次の1から5までのの中から一つ選びなさい。</p>	<p>【対策】</p> <p>①説明文教材において、簡潔に要約する文章を書く練習を実施する。</p> <p>①朝学習で週に1回、新聞記事を読み、要約文を書く練習を実施する。</p>

数学A	県平均 69.3%	全国平均 62.2%
【特に正答率の高かった設問】 ☆「数と式」 <ul style="list-style-type: none"> ・「正の数と負の数の加法の計算ができる」 ・「数式の加法と減法の計算ができる」 		<ul style="list-style-type: none"> ・ $-3 + (-7)$ を計算しなさい。 ・ $(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算しなさい。
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ①図形 <ul style="list-style-type: none"> ・「四角形を平行に動かしてできる立体の名称」や「見取図に表された立方体の角の大きさ」、「三角形の合同条件」 ②関数 <ul style="list-style-type: none"> ・「反比例を表した事象」や「一次関数のグラフを選ぶ」、「一次関数の式から変化の割合を求める」 		【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ①実物、あるいはそれに代わる教材を使った説明を実施する。 ①定期テストにおいて、用語の意味に関する設問を新設する。 ②社会や理科で、グラフの読み取りの指導を充実する。

数学B	県平均 50.8%	全国平均 44.1%
【特に正答率の高かった設問】 ☆「数と式」 <ul style="list-style-type: none"> ・「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる」 		6 美咲さんは、数当てゲームを行うために、次の手順を考えました。 手順 <ul style="list-style-type: none"> ① 最初に数を1つ決める。 ② ①で決めた数に10をかける。 ③ ②の数から8をひく。 ④ ③の数を2でわる。 ⑤ ④の数に14をたす。 (1)最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書きなさい。
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ①与えられた情報の取捨選択 <ul style="list-style-type: none"> ・「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理する」 ②数学的な表現 <ul style="list-style-type: none"> ・「適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する」 		【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ①各単元において、同傾向の問題を実施する。 ②説明に必要な語句を明確にし、それらをつなげて説明する方法を指導する。

次に「質問紙調査」での課題をお知らせします。全部で85項目ある内、県平均を下回っているのは、次の4項目だけです。他の項目については、全て県平均を上回っており、大変すばらしい結果と言えます。

質問紙	
【課題】 ※県平均より下回っている項目 <ul style="list-style-type: none"> ①「朝食を毎日食べている」 ②「読書が好き」・・・好き：34.1% ③「新聞を読んでいる」・・・ほぼ毎日：6.4% ④「地域の行事への参加」 	【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ①～③再調査を実施し、保護者の方に協力要請を依頼する。 ②図書委員会から本の紹介を実施する。 ②ビブリオバトルの全校大会を実施する。 ④地域の行事を調査し、生徒に紹介する。

以上の結果は、3年生だけでなく、全学年に共通することもいくつかあります。今後、学校全体で「対策」を具体的に実践していきます。各ご家庭におかれましても、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。